

開講科目名 Course	組織再編税制研究 / Organization Reorganization Tax System
時間割コード Course Code	17908
開講所属 Course Offered by	法学研究科修士課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2021年度 / Academic Year 後期
曜限 Day, Period	土 / Sat 4
開講区分 semester offered	後期 / .
単位数 Credits	2.0
学年 Year	1,2,3,4
主担当教員 Main Instructor	村上 正城
科目区分 Course Group	公法関係科目群
教室 Classroom	10階ホール
講義形式 Lecture Style	講義科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	村上 正城 (法学研究科修士課程)
授業の目標	
授業の概要	<p>1. 授業の概要</p> <p>「講義の目的」</p> <p>条文や学説、判例等を読み込むことで、組織再編税制の仕組みと機能を体系的に理解し、企業が抱える様々な経営課題に対して、問題解決へ向けた組織再編の活用を論理的思考（リーガルマインド）のもと、提案できる能力（リーガルリテラシー）の向上を目的に、基礎的知識の修得に取り組む。</p> <p>「講義の内容」</p> <p>組織再編税制の基礎的な知識の修得と、組織再編活用の提案アプローチのスキルアップへ向けて、講義では毎回テーマを設定し、受講生には、講義の中で論点や自身の見解を論じてもらうことで、インプットとアウトプットの両面から理解を深めていく。</p> <p>「授業の内容(予定)」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 組織再編税制の意義 2 支配関係 3 適格要件 4 繰越欠損金 5 特定資産譲渡等損失 6 合併 7 会社分割 8 現物出資 9 現物分配 10 株式交換 11 株式移転 12 株主課税 13 非適格組織再編の課税関係 14 包括的な租税回避防止規定 15 判例研究(ヤフー・IDCF事件) <p>2. 評価方法</p> <p>出席及び授業への参加姿勢、ドリル、発表、討論および貢献度等を総合的に勘案して評価する。</p>

評価方法	
教員の指導に従わない以外の事由による失格基準	
授業計画	
テキスト	特に定めない。
参考書	税大論叢、租税関係判例、裁決ほか その他必要に応じて指示する。
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	
実務経験のある担当教員による授業	
担当教員の実務経験を活かした授業の内容	
質問への対応方法	
フィードバックの方法	
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	
使用言語	
SDGs 17の目標（1～10）	
SDGs 17の目標（11～17）	